

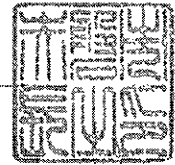


赤 建 第 6 8 3 号

平成20年10月14日

国土交通省 道路局長 殿

赤磐市長 荒 嶋 龍



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別添のとおり回答いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

地方都市の実情に配慮した道路整備の推進について

地方都市である本市においては、依然として狭隘な道路が多く、未だ整備水準が十分でないことから、道路整備に対する市民及び地元企業等の要望は高く、行政に対して、整備促進のための取り組みが強く求められているところです。

また、鉄道等の公共交通網が十分に整備されていない本市にとっては、道路が唯一の交通手段であり、市民生活、経済活動、社会福祉等に欠くことのできない重要な施設であることから、今後、本市としても、地域の切実な要望に応えるため、機能的な道路交通網の構築に努めてまいりたいと考えております。

しかし、現行の構造基準（道路構造令等）や補助採択基準（費用対効果等）が、大都市を含め全国一律であるため、交通需要の評価が人口集中による交通量の多寡に偏った手法では、人口が少ない過疎地域と都市地域を結ぶライフライン等の道路において、積極的な改善が図れない場合があります。

さらに、本市を含め多くの地方公共団体では、長引く景気低迷の影響を受け、非常に厳しい財政状況にあることから、地域の要望に沿った道路整備が必ずしも円滑に進んでいる状況ではありません。

ついては、地方都市の実情に配慮した道路整備を推進するため、地域の特性に応じて柔軟な運用が図れるよう構造基準等の見直し又は特例措置を前向きに検討いただくとともに、地方負担の軽減や国庫補助制度の拡充等を中心とした支援措置が、新たな中期計画に反映されるよう強く要望します。

②－１ 地域の現状と抱える課題

岡山県 赤磐市

○現状

本市は、岡山県の南東部に位置し、総面積は209.43k㎡、本年9月現在の総人口は45,333人であり、市の東端には県三大河川である一級河川吉井川が流れています。

市内の中央から南部の平野には、市街地と田園地帯が広がり、北部から東部にかけては、吉井高原をはじめ、山地や丘陵地の緑豊かな地域に山村集落が点在しています。

道路交通網としては、市の南部に山陽自動車道路が東西に横断しているほか、主に県管理の国道及び主要地方道で骨格が形成されており、本市と県都岡山市を結ぶ主要地方道岡山吉井線の4車線化をはじめ、都市間を連絡する幹線道路の整備が計画的に順次進められています。

また、県東部地域の南北を結ぶ地域高規格道路として、現在、美作岡山間道路の建設が県事業により進められており、当事業の早期着手・完了を図るため、本市も含む地元関係自治体で道路整備促進期成会を立ち上げ、以前から関係機関等に対し強く要望しています。

特に、本市では、地域経済の活性化を図るため、既存の工業団地や道路を活用して、企業誘致を柱とした地域産業の振興に関する施策を重点的に取り組んでいます。

○課題

本市は、赤磐郡内の山陽町、赤坂町、熊山町、吉井町である旧4町が平成17年3月に合併して間もない状況であり、これからは、総合性・一体性の観点から、各地域の個性を活かしつつ、一つの行政区域として、各分野における新たな方向性の確立に努めていく必要があります。

そのような中、鉄道等の公共交通網が十分に整備されていない本市にとっては、道路が各地域間を結ぶ唯一の交通手段であり、市民生活、経済活動、社会福祉のほか、将来の発展性に欠くことができない重要な役割を担っています。

こうした現状を踏まえ、本市においては、①重点施策である企業誘致による地域経済力を高めるためのアクセスルートの機能強化、②過去20年間で老年人口の約2倍近い上昇を背景とした高齢化に対応するための快適で安心な道づくり、③市民の交流や防災・医療活動を円滑にするための中山間地域と市街地を結ぶ広域的な交通網の構築、④市街地における良質な都市空間の形成を図るための街路の改善、⑤観光資源やレクリエーション拠点の利用を促進するための回遊ルートの創設等を主要な課題としており、今後は、これらを念頭に置いた道路行政の推進に努める必要があります。

②-2 地域の目指すべき将来像

岡山県 赤磐市

本市では、合併後の翌年である平成18年3月に赤磐市総合計画を策定しており、その基本構想及び基本目標の中で、山陽自動車道及び現在建設中である美作岡山間道路を「広域連携軸」、国道及び主要な県道を「都市連携軸」に位置づけ、生活道路である市道の計画的な整備とともに、効率的・効果的に道路交通ネットワーク機能の向上を図ることとしています。

さらに、そのハード的な整備とあわせて、高齢化が進む中山間地域における交通弱者等の移動手段の確保に配慮した広域的・体系的なバス路線等の確立、通勤・通学者の利便向上と環境負荷の軽減を目的としたパーク・アンド・バスライドの促進等により、公共交通の充実化を図ることとしています。

【赤磐市総合計画に掲げる目標指標】

市道の改良率 現況（平成18年）：43.3% → 目標（平成27年）：50.0%

※参考 市道総延長：925.5km うち改良延長：401.2km

赤磐市総合計画の将来展望である基本理念に即し、すべての市民が安心していきいきと暮らせ、まち全体が活力にあふれる本市の将来像の実現を達成するためには、本市の道路行政に係る主要な課題等に対応することが重要であり、具体的には、次に掲げる施策の推進を図る必要があると考えています。

- ① 山陽インターチェンジ及び美作岡山間道路を活用した地域経済の活性化を促進するためのアクセス道路の整備
- ② 高齢者も含めた多くの人にとって暮らしやすいまちづくりのための道路のバリアフリー化
- ③ 市民生活や防災・医療活動に直結する生活道路を計画的に整備するための広域的な道路交通ネットワークの構築
- ④ 都市地域における機能的でスムーズな道路交通を確保するための都市幹線道路及び主要な交差点の改良
- ⑤ ストックの有効利用による観光の振興や市民のアメニティー向上を図るための環状道路網の形成

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岡山県 赤磐市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他（参考）
地域活力の向上	・美作岡山間道路の整備促進 ・ＩＣに接続する幹線道路の高規格化	・広域交通網へのアクセス向上 ・物流機能の強化 ・工業等の増進による雇用促進	【目標指標】 製造品出荷額 現況（H18）：588億円 目標（H27）：611億円
	・道路交通ネットワークの構築 ・生活道路の計画的な整備	・地域間交流の促進 ・防災・医療活動の円滑化	【目標指標】 市道の改良率 現況（H18）：43.3％ 目標（H27）：50.0％
少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・道路のバリアフリー化の導入 ※要導入地区：山陽団地等の住宅市街地	・段差解消による交通環境の改善 ・交通事故防止への寄与	【目標指標】 交通事故件数 現況（H18）：1,249件/年 目標（H27）：1,150件/年
都市交通の快適性、利便性の向上	・砂川横断部の交差点の改良	・交通渋滞の緩和 ・交通事故防止への寄与	砂川横断部交差点 3路線交差 平日交通量 ：8,500～18,000台/12h
観光の振興、市民のアメニティー向上	・観光地を結ぶ環状道路網の形成 ※主な観光地：ドイツの森 他5箇所	・回遊性向上による集客力向上 ・中山間地域の活性化	【目標指標】 観光客数 現況（H18）：516千人/年 目標（H27）：570千人/年